

【4月6日の再開について】

新年度につき、予定通り4月6日再開といたします（追加の予防措置をとった上で）。特に最初の一週間は、関係作りにおいて一年間で最も大切な期間ですのでぜひ実施したいと思っています。一方、状況の変化を見ながら柔軟な対応を行ってまいります。

4月1日専門家会議の「子どもは感染拡大の役割をほとんど果たしていない」「東京は感染拡大地域であり、行動変容が必要」などの知見を踏まえ、クラスは再開するものの、大人同士の感染強化策（時差出勤）やプリスクール選択制導入など追加措置を取ります。

安全面で色々と工夫しながら柔軟に、成長と学びの火を消さず、楽しい時間を提供してまいりたいと講師・スタッフ一同考えています！

「決定事項」

- 「4月1日専門家会議知見を踏まえた追加措置」の上、4月6日再開します。
 - ヤングプリ、プリスクール：時差で開始の上、以下の選択制とします。
 - ①10:00～14:30、または②10:00～12:00（ランチなし）からお選びください
 - KC、AS：通常通り行います
- 状況の変化を見ながら柔軟に対応してまいります（変更の場合には、速やかにご連絡いたします）
- 4月休会ご希望の方は「初回クラス開始までに」「必ずメールで」お知らせください。すでにお申し出の方も、確認のため再度メールをいただければ助かります。
 - 恐縮ですがスクール維持のため「在籍料（月謝の3分の1）」を頂戴いたします。
- 3月休校分振替用に設定した「追加振替クラス（水曜午後プリ等）」についても予定通り実施いたします。

「再開時お願い」

- ① 保護者判断でのご参加でお願いします（休会も可）
 - ～「持病をお持ちの方、妊婦さんはリスクが上がる」「複数人数の集まりや会食には一定のリスクがある」との見解があることをご理解下さい。
- ② 風邪症状*時の欠席協力（*熱だけ、のどが痛いだけ、咳だけ）
- ③ 通学前の検温・手洗い
- ④ 前回からの追加：送迎時の講師や他の保護者との密集回避にご協力ください
 - ～クラス終了後の説明を当面見合わせます。お迎え時の密集回避をお願いします。
 - ～講師も通勤経路により遅れての出勤や、体調不良時のお休みなど保守的な対応を行いますのでご理解ください

<ご参考>基本的な考え方や対応方針検討経緯

- 今回の具体的な対応
 - 4月6日に追加措置を取った上で再開する
 - 状況変化を踏まえて必要な対応を柔軟に素早く行う
- 基本的な方向性（3月30日時点での考え方）
 - ①国の方針・知見に留意しつつ、②下記判断ポイントに変化がなく、③十分な予防措置を取り、④保護者判断を尊重する形であれば、⑤状況変更時には適切な対応をすることを前提に、独自に開校の判断を行う。
- 4月1日時点での状況
 - 以下の重視ポイントには現状変化は見られない。但し、地域の感染者数は増加中。
 - 緊急事態宣言の対象となっていないこと
 - 子どもの重症化事例の少ない状況に大きな変化がないこと
 - 日本の医療システムが機能していること
 - 4月1日の専門家会議の知見
 - 子どもは地域の感染拡大の役割をほとんど果たしていない
⇒「必要な検討事項：継続に際しては、子どもの安全面は当然ながら、むしろ大人の感染予防措置への対応が重要（講師・スタッフの通勤、保護者との感染など）」
 - 感染拡大警戒地域としての想定される対応
 - (ア)3つの密の回避 → 換気、アウトドアの積極活用
 - (イ)地域レベルでも10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避けること
 - (ウ)家族以外の多人数での会食などは行わないこと
 - (エ)具体的に集団感染が生じた事例を踏まえた、注意喚起の徹底
⇒「必要な検討事項：食事回避等について選択制とする」
- 具体的な対応に至った考え方
 - 学校・幼稚園は休校が予想されるが、追加予防措置を講じることで再開可能と考える。
 - ① 子ども起点とした感染拡大は見られないとの専門家知見がある。
 - ② 専門家の提言を踏まえ、時差・時短・ランチ対応などについて追加措置は必要。
 - 少人数制、週回数の少なさ、短時間であることを踏まえ、保護者判断を尊重しつつ検討。
 - 状況は刻々と変わっており、柔軟に対応することはこれまで以上に重要と認識。
- 感染防止策～以下はプリスクールの場合（KC、ASはこれに準じます）
 - 事前準備：換気
 - 受入れ 検温、手洗い、ワークタイム終了後におもちゃや備品消毒
 - サークルタイム 椅子間隔を離す
 - トイレタイム 手洗い（歌をうたいながら）、外遊び中に換気
 - ランチ 手洗い、検温、換気、手洗い（食後）、終了後おもちゃ消毒
 - 換気、終了後の説明を省略